

# 総選挙勝利へ総力

# あきた県退連

第 69 号  
2024 年 10 月

発行  
秋田県退職者  
連合  
発行人  
芳浦 修

自民党の裏金問題をうけての衆議院・解散総選挙は、十月九日衆議院解散、十月十五日公示、十月二十七日投開票という日程で実施されることになりました。

今回の総選挙は、自民党のデタラメな裏金問題を争点に争われますが、自公政権に代わる「よりマシな政権」をめざし、総力を挙げて闘う必要があります。

自民党は、九月二三日に総選挙を実施しましたが、総選挙の間は連日、裏金問題などなかったかのようには、華々しい演出をし、新しい総裁を選出しました。

そして、石破茂総裁が選出されましたが、総選挙中は野党との十分な、国会論戦をしたうえで国民に信を問うとしていたのが、総理大臣に選出される前に、解散・総選挙の日程を確定してぶち上げるといふ選挙にでました。

裏金問題などの争点を隠し、自民党総裁選でマスコミを賑わした勢いが有るうちに、そして新内閣に対するご祝儀相場で支持率が高いうち争点をボカシ国民の皆さんをだまかそうという魂胆以外の何もかもうないと言わざるを得ません。

今回の総選挙は、私たち高齢者にとって今後の社会保障制度の充実などに向けて、要求を前進させ行く上で有利な政治情勢をつくるために極めて重要な選挙であり、秋田県退職者連合として、連合秋田で推薦決定している候補者の勝利に向けて、連合秋田と現退一致で総力を挙げ、この総選挙を戦い抜かなければなりません。

## 「健康保険証廃止の中止等を求める意見書」の 県議会請願は自公の反対で否決に

秋田県退職者連合は、マイナンバーカードに健康保険証機能を組み込んだ「マイナ保険証」の普及のため、2024年12月2日に現行の健康保険証を廃止するという政府に対し、現行の健康保険証を2024年12月2日に廃止するとの措置を中止し存続させることを求めて、秋田県議会議長に「健康保険証廃止の中止等を求める意見書」の提出について議会請願を提出しましたが、秋田県議会6月議会において自民党、公明党等の反対で否決されました。

この議会請願は、マイナンバーカードやマイナ保険証を巡っては問題が続出しており、高齢者にとっては深刻な問題です。

とりわけ「マイナ保険証」に関しては、窓口で無効と判断されて医療費の10割が請求された事例や他人の情報がカードに紐づけられていたケースが判明したことなどが報じられています。

また、県内でも医療現場の受け入れ準備が整わずマイナ保険証が使えないなどの混乱が生じており、被保険者や医療現場からも懸念や不安の声があがっています。

こうした懸念や国民の不安が解消されないまま健康保険証の廃止を進めることはさらに混乱を生じさせ「いつでも、誰でも、平等に医療を受けることができる」という国民皆保険の理念を揺るがすことに繋がりがかねません。

まずは、現行保険証とマイナ保険証の選択制を打ち出していた原点到に立ち返り、何ら不都合なく使えている健康保険証廃止措置の中止・延期を含めた政府の冷静な判断を求め、「現行健康保険証を2024年12月2日に廃止するとの措置を中止し存続させること」を求めたものです。

### 健康保険証問題で秋田県に要請

秋田県退職者連合は、日本退職者連合が「政策・制度」要求の前進に向けて全国的に展開している自治体に対する「政策・再度」要求の申し入れの中に、秋田県議会に健康保険証問題の請願をしてきたことから、次の申し入れをすることとしています。

本年12月2日の現行保険証の廃止に伴う医療保険の継続利用について

「マイナ保険証」を取得していない人には、「資格確認書」が交付され、継続的な医療保険の利用が可能であることを県民に周知すること。

秋田県教組退職者会（会長・内藤真吾）は今年6月に開催した、秋教組退職者会定期総会において、秋田県退職者連合への組織加盟を決めてくれました。

秋教組退職者会は三十年以上の歴史を持つ組織であり、県内に十支部（鹿角・大館北秋・能代山本・男鹿南秋・秋田市・河辺・本荘由利・仙北・横手・平鹿・雄勝）を置き活動を展開しております。

今までは、秋田市高退連にだけ加盟して、高齢者等に関

わる運動を展開してきておりました。

しかし、県内全域に組織が存在していることや、教組の退職者会は全国的にも日本退職者連合の先頭に立つて運動展開している組織であり、これから、社会保障制度の充実を求める運動展開が必要なことから、県退連としても、是非「秋田退職者連合」に加盟して一緒に運動してもらいたい」と、この数年加入を働きかけてきたものです。

## 秋教組退が県退連へ加盟

具体的には、今年の秋田県退職者連合の第十九回定期総会から県退連の一員として共に運動展開していくことになっております。



# 社会保障制度改革の取り組み強化

## 日本退職者連合が第二八回定期総会

七月十七日(水)、日本退職者連合は、東京連合会館において、「第二八回定期総会」を開催しました。

冒頭、今年一月一日に起こりました能登半島地震で亡くなられた方、また、今年度に亡くなられた会員のご冥福を祈り黙祷を行いました。

その後議長団を選出し議事に入り、はじめに人見会長のあいさつで、二月一日の能登半島を中心に大きな地震があり、死者二九九名、家屋の倒壊八万棟など甚大な被害をもたらしました。

心からのご冥福と、被災された皆さんにお見舞いを申し上げます。そして、一日でも早い復興を政府、自治体に求めていきますと力強いあいさつがありました。

要求の前進であり、地方退連においても各首長に対して要請行動を展開するよう強く求められました。

清水連合事務局長や各政党代表(立憲・辻本清美はじめ全員女性)からのあいさつの後、

活動方針案などの質疑討論がおこなわれ、石川県退連からの感謝の発言や、沖縄県退連からの米兵による少女暴行事件に対する怒りの発言などがだされました。

そして、各差別や地方退連からも多くの意見が出され、活発な討論を経て、社会保障制度改革をはじめとする重要課題の取り組みなど、二〇二四年度の運動方針、政策制度要求を満場一致で確認し、最後に人見会長の団結三唱で閉会しました。



【写真は今年の全国定期総会】

## 単会だより

### J R 総連秋田県協議会 O B 会

『国鉄改革』とそれぞれの『挑戦』  
 国鉄改革を経て、1987年JR(JR東日本株式会社)がスタートした。国鉄改革とは「カラスが鳴かない日はあっても、国鉄が話題にならない日は無い」などとまで言われ、国鉄労働者悪玉論の包囲網が展開された。国鉄改革で誓ったことは二度と雇用不安をさせない。そのためにJR東日本を一流企業にすることを目標とした。前提は「そこに働く社員・組合員の安全・健康・ゆとり働きがい」が担保されなければならない。そのために、道なき道を労働組合として切り開いていった。

明るい未来を労働者として語り合い、職場の声を基礎に労働組合として「政策」を会社に提言した。多くの提言も実現した。現在も継続している。しかし、同時にJR東労組破壊攻撃も繰り返されてきた。その攻撃にも組織の力で勝ち取ってきた。現在、昭和採用の組合員が担ってきた組織から平成採用中心の組合員が担っている。悔しいことだが更なる攻撃で、少数労組になってしまった。しかし、明るく元気に組織力で活動している。1988年8月8日大集会の意志は、脈々と受け継がれ闘っている。素晴らしい後輩たちだ。

私たちOB会は、その下支えを具体的に担うために、それぞれの地域から運動を展開している。重要なことは東労組運動を継続していくこと。その方針を基礎にブレること無く運動することである。

私たちOBが創ってきた組織であり「現在・過去・未来」の中の過去を創らずに現在のJR東労組はないしOB会の存在もあり得ない。私たちは現職組合員と共にあり、そのために情報(時代認識)の共有化とそれぞれの組合員が組織強化をめざし具体的に運動を推し進めている。

J R 総連秋田県協議会 O B 会 会長 藤 島 稔

住まいのリスクを幅広く保障

**住まいる共済**

火災共済・自然災害共済  
 風水害等給付金付火災共済・自然災害共済・個人賠償責任共済

地震等への備えは  
 火災共済に加えて  
 自然災害共済の加入が必要です。  
 「もしも」に備えて  
 大切な住まいを守るご準備を。

最高保障額  
**1,800万円**

上記は火災共済・自然災害共済(大型タイプ)に  
 600口加入した場合の最高保障額

資料請求・お問い合わせ先は  
**018-824-6031**

秋田推進本部(秋田県労働者生活生活協同組合)

受付時間:月~金9:00~17:00(祝日を除く)  
 土曜日:10:00~16:00(秋田店のみ)

**「年金のお受け取り指定なら"ろうきん"へ」**

コンビニなどの  
**提携ATMの  
 引出し手数料**

実際 **0円**

＜東北ろうきん＞のキャッシュカードで銀行・信金など全国のMICS加盟金融機関、ゆうちょ銀行、コンビニエンスストアのATM・CDから「お引出し」された際のお引出し手数料を、【時外】・【土曜日】・【日曜日】・【祝日】の手数料も含めて、ご利用回数分毎月全額キャッシュバックいたします。

※VIEW ALTE(ビューアルティ)ではカードローンはご利用いただけません  
 ※提携ATMは、各提携金融機関により利用可能日時が異なります。詳しくは各社ホームページをご覧ください。

**東北労働金庫 020-1919-62**

2024年4月1日現在